

榆陵を仰いで

(令和元年度寮歌)

佐藤亮君 作歌・作曲

一

嗚呼悠遠き日の燈よ
我らが自由を映しなん
今宵風が火を掠め
燭台鈍く声漏らし
枯れ蔓綻び覗かせて
仄かに蛾は細くなりゆく
されば問え己が心に
我が胸内は寮が誇りよ

二

嗚呼悠遠き日の鞆物
流転の輝き放ちなん
嘗て疾風に先人は
掴み離さず此れを継ぎ
擦傷僅かに見ゆれども
威風今こそ我が手に至る
されば感ず時潮の想い
手に得し重み寮が誇りよ

三

先人残せし貴き野心の
それにも優る縁在り
いづれ別れるその運命まで
囲み語らい己が未来創れ
榆陵の片隅我が故郷は
斯くあるべしと誰か言う